



株式会社 CAC Holdings

令和2年度東京都
スポーツ推進モデル企業

株式会社CAC Holdings



社員自ら本気でポッチャを楽しみ、魅力を伝える

障害者スポーツ「ポッチャ」の普及・支援を、2016年より社会貢献活動としてグループを挙げて取組んでいる。各地で開催されるポッチャの大会やイベントに社員がボランティアで赴くほか、時には体験会の企画運営から実施までを請け負う。アスリート社員と連れ立っての体験会では、技術指導やトークショーも実施。オンラインで実施することもある。



社員のポッチャサークルメンバーのうち、15名が日本ポッチャ協会公認資格「ポッチャサポーター」を取得。そのうち8名が同協会公認資格「JBoA登録審判員」を取得。協会からの要請を受けて公式審判員としてコートに立つ。日本選手権本大会の審判に招聘される者もある。

オリジナルツールでポッチャの楽しさと魅力を、より多くの方に伝える

ポッチャの的玉であるジャックボールとカラーボール間の距離を測定し、勝敗の判定を補助する画像やデータを表示するAndroidアプリ「ポッチャメジャー」を開発。無料配信している。また、ボールの配置を真上から撮影するための移動架台&ハイアングルカメラの装置「ポッカム」を開発。これらのオリジナルツールを主催するポッチャ大会会場で使用し、観客に臨場感をもって戦況を見せながら、ポッチャの楽しさと魅力を伝える。



社屋1階常設のポッチャコートを一般に無料貸し出し

「ポッチャ」普及・支援の活動拠点として本社1階に設置したポッチャコートを、競技者やレクリエーションとして楽しむ方々に無料で開放。主要国際大会で採用されているスポーツ用床材を使用した公式サイズのコート周辺には十数台のカメラを設置しており、「ポッチャメジャー」や映像分析ソフトなどを組み合わせ、戦況や投球者の様子などを大型スクリーンに投影することができ、アスリートのレベルアップに貢献するとともに、ポッチャの楽しさを伝えるために活用している。



企業データ

所在地 中央区

業種 情報・通信業

総従業員数 約5,000名

withコロナの取組

コロナも乗り越えて、ポッチャを楽しむ



社内ポッチャサークルの練習会では練習前の検温・手の消毒はもちろん、コートを除菌シートで消毒し、自動ドアを開放して換気にも気を使っている。練習中、投球チーム以外は投球ボックスから外に出る。作戦会議をする時はボール周辺に集まらず、大型スクリーンに映し出す映像を見ながら…など、ルールを超えた対策を実施。ナイスショットのハイタッチもエアーでしている。

リアルイベントができずとも、創意工夫でポッチャの魅力を伝える

コロナ禍でアスリート社員が体験会会場に向かえない時はオンライン会議で参加し、ポッチャの魅力を伝える活動を継続的に実施。

また、オンライン会議用のバーチャル背景の提供や、練習会の様子を動画で流すなどFacebookなどのSNSを使ったポッチャの普及・支援活動を行っている。



その他の取組

一人でも多くの人にポッチャを楽しんでもらうために、用具購入がハードルとなっている非営利団体・法人へ向けて、ポッチャ用具を寄贈するプロジェクトを毎年実施。要望に応じて講習会もしている。

また、都内の特別支援学校の生徒を招き、グループ社員自らの企画・運営による、当社主催のポッチャ大会（CACカップ）を毎年開催している。

ポッチャ観戦を楽しむオリジナルツールの導入や、社員のアイデアによる様々な演出も



盛り込んで実施し、選手だけでなく観戦者にも一緒にポッチャを楽しんでもらっている。

STAFF'S VOICE

CACグループは、主に企業のお客様を対象として、IT&ヘルスケアサービスを国内外で展開している企業グループです。50周年を迎えた2016年より、社会の皆様へ感謝の気持ちをお伝えする一つの形として、障害者スポーツであるポッチャの普及・支援活動をグループを挙げて開始しました。誰もが一緒になつてすぐに競技を楽しむことができるポッチャは、ダイバーシティやインクルージョンの必要性がますます高まるこれからの時代にふさわしいスポーツであり、これからも普及活動に取組んでいきたいと思っています。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

